

平成22年度 後期12月に行われた生徒による授業評価の集計結果は以下の通りです。

1. 設問内容は以下の通りでした。

1	先生の授業は、スムーズに行われていますか。
2	あなたは、授業を通して知識を得たり経験をしったりして、満足していますか。
3	先生の授業の進度(すすみ具合)は、ちょうどよいですか。
4	あなたが、参加しやすい授業でしたか。
5	先生は、授業中わかりやすく説明してくれていましたか。
6	先生は、生徒のことを考えて授業をしてくれていますか。
7	あなたは、授業に集中していますか。
8	あなたは、授業に前向きですか。
9	あなたは、学校の授業時間の他に、この授業の学習をしていますか。

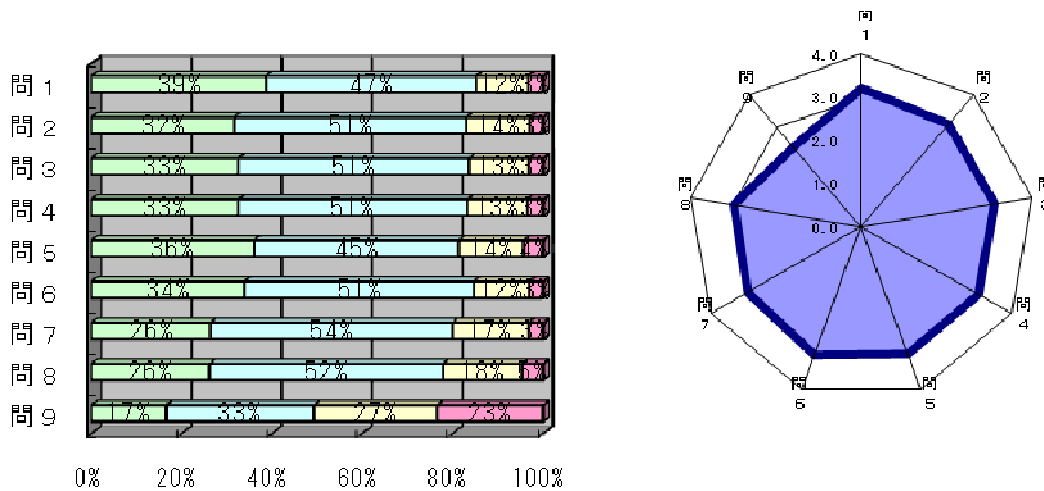
2. 設問に対する生徒の解答の選択肢は以下の4種でした。

とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
4点	3点	2点	1点

3. 各教科の結果は以下の通りです。

各教科とも、左のグラフは各設問に対する回答率、右のレーダーチャートは、上記の数値で計算した各設問の回答得点平均です。グラフの下段に各教科の分析結果に基づいたH22年度の授業改善の状況と今後の課題を掲載しました。

国語

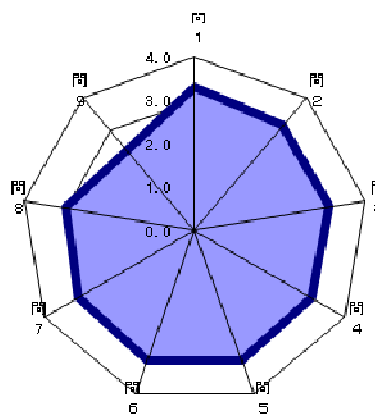
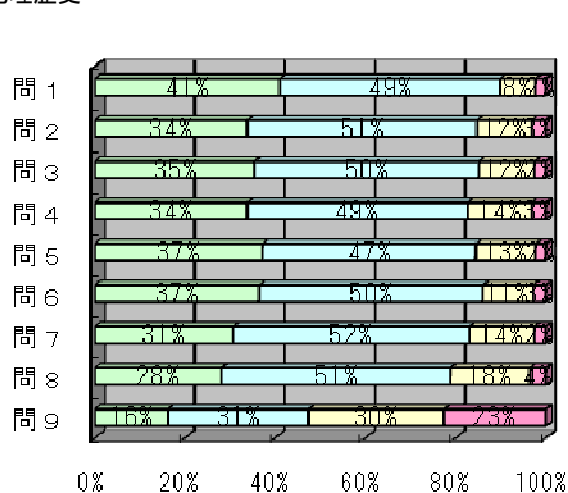


- ・家庭学習の時間を取っていない生徒の割合が多かったので、小テストの回数を増やした。小テストの成績は、多くの生徒が一定水準に達し、ある程度家庭学習の時間の増加を促すことができた。
- ・古典分野を苦手とする生徒が少なくないので、毎週定期的に授業に古典分野を取り入れ、古典を身近に感じさせ、苦手意識を払拭し、古典の知識の定着率を高めた。
- ・授業見学を通して、教員相互で、授業内容を批評し合い、学習効率を高める板書や発問の仕方を取り入れた。
- ・定期テストの結果が30点未満の生徒の比率は非常に少なく、大多数の生徒が一定水準の知識を身につけた。

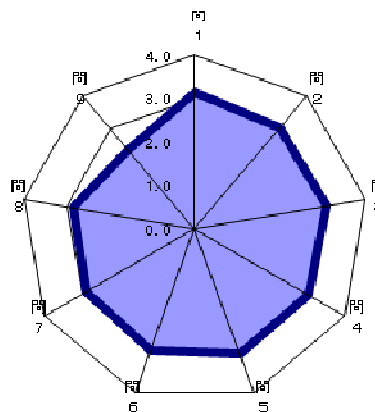
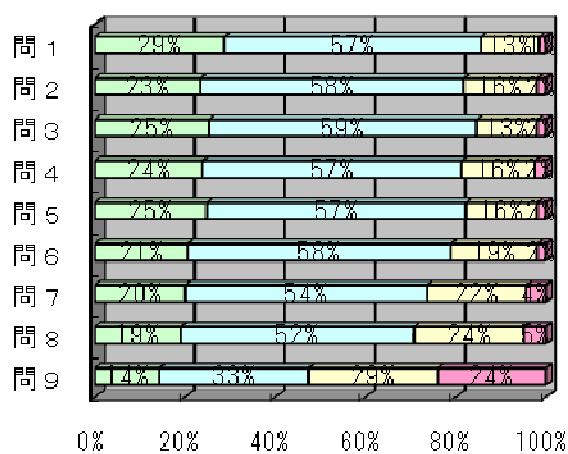
2. 今後の課題

- ・授業と試験の内容は、標準的な学力レベルの生徒を想定したものであり、この点では一定の成果が出ている。しかし、生徒の学力レベルに大きな開きがあり、同時に、意欲に大きな差がある。標準的な生徒を想定した場合、これらの生徒の能力や意欲を伸ばしにくい面がある。そこで、今後は、上位層と下位層を、できれば同時にレベルアップできる対応の仕方を工夫する必要がある。
- ・学習状況調査の結果から、本校の生徒の国語の学力は、ほぼ全県の公立高校の平均に位置する。学力の向上には学習意欲の向上が必要である。学習意欲をいかに高めるかを入念に工夫する必要がある。

社会科
地理歴史



公民



1. 今年度の改善状況

良かった点

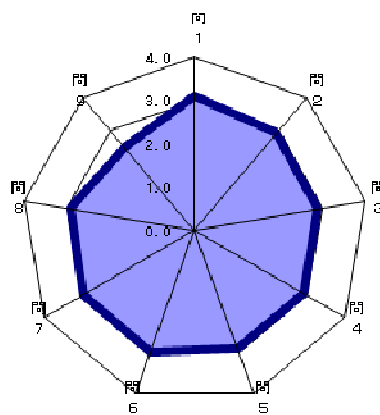
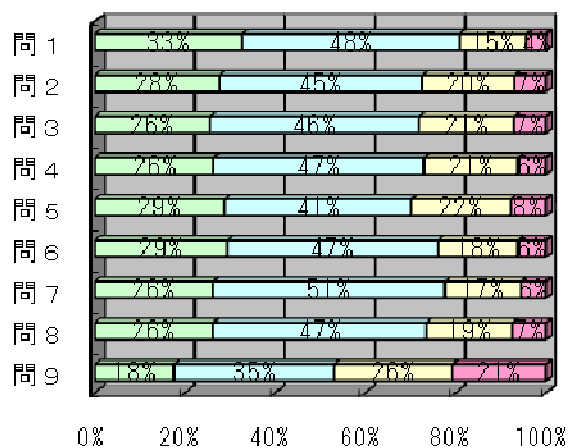
- ・授業への取り組みが十分でない生徒に対して個別指導を積極的に実施することによって、前向きに授業に臨む態度を醸成することができた。
- ・宿題やレポート提出、補習などを定期的に行い、授業以外での学習の時間が増えるように工夫した。

悪かった点

- ・4単位の科目が多い科目(「日本史B」「世界史B」「地理B」)においては、学習進度も速く、学習内容も多いことから、授業内容の理解に苦勞している生徒が多かった。
- ・まだまだ家庭学習の取り組みが十分とはいえない。

2. 今後の課題

- ・進路の決定した3年生に対して、学習意欲を持続させる指導を工夫する。
- ・前期に比べて成績が低下の傾向にある生徒に対して、個別に指導することで、他の生徒に比べて学習が遅れないようにする。

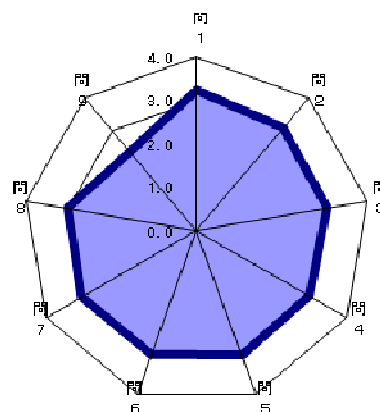
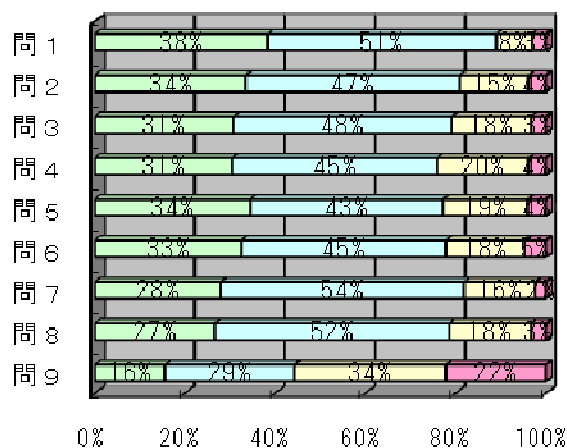


1. 今年度の改善状況

- ・ 中単元ごとの確認テストを行い、短いスパンで生徒各自の到達度を評価し、次の単元へ進むにあたっての、学習への取り組み方の反省を促すと共に、自信をもって次の学習にも取り組めるよう心理的な効果をねらい、功を奏した。
- ・ 時間の制約があって、発展的な内容を扱う余裕がなく、ミニピクニック的な扱いしかできなかった。また、板書を書き写すことと考えることを同時にこなせる生徒が少ないことも時間がかかる要因となっている。改善の方策を工夫する必要がある。改善することで、授業での参加型授業を行うバリエーションも豊かになるはずである。
- ・ 授業の進度については、自作プリントを配りノート作成の時間を節約させた。プリントに自分で記入させることで参加しやすい授業にした。
- ・ 教材内容の自主的編成を行い、教科書の不十分な内容を補足するプリントや教科書よりも分かりやすく深い内容の教材・教具を作成した。具体的には、三角関数、微分積分、ベクトルと空間図形、平面図形などで具体的な教材のモデルを作成した。その数学教材を通じて具象化したものをもとに演繹的に定理として理論化し、さらに、その抽象化した定理から帰納法的に具体化する授業展開を試みた。現実の社会生活における数学の有用性を示しながら本質的な数学理論についての工夫を行った。授業では、その時間的制約の中で可能な範囲で自主編成による教材を展開した。また、自主的な学習を促すために日常的に課題を提起し、生徒にプリント等で解答を提出させることにした。テスト前にはテスト範囲の問題集等の課題を示し、生徒の自主的計画的学習を促した。家庭学習はほとんどの生徒が行うようになったが、今後一層の主体的な学習を期待したい。

2. 今後の課題

- ・ 生徒の授業評価を通じて、前期、後期ともに生徒の主体的な学習内容や取り組みの方法に課題があり、復習だけではなく予習を中心とした家庭学習の必要性を感じている。
- ・ 多くの生徒が復習を中心とした学習をしており、より積極的な学習課題の提起を検討したい。ただ、全教科の学習に関わることで、生徒の毎日の自主的な学習をどのように指導していくかという指導課題がある。部活動を積極的に行う生徒が多いこともあり、積極的な部活動と主体的な学習との両立を考えると現実的にかなり難しい課題といえる。
- ・ 生徒は、日常的に授業での課題(プリント等)の解答を行い、自主的に学習をすすめるようになった。テスト前にテスト範囲の問題集等の課題に対して、自主的計画的な学習をすすめている。家庭学習はほとんどの生徒が行うようになったが、今後一層の主体的な学習を期待したい。十分な家庭学習が取り組めていない生徒の指導について、今後も指導を重視したい。
- ・ 定期テスト等での学習成績から着実に努力し実力を高めている生徒も多く出てきている。ただし、3月テストの範囲がかなり広いこともあり、単元ごとの理解度を観るために、1月から2月までの間に小テストや中テストを実施しているが、今後もこのような工夫が必要である。

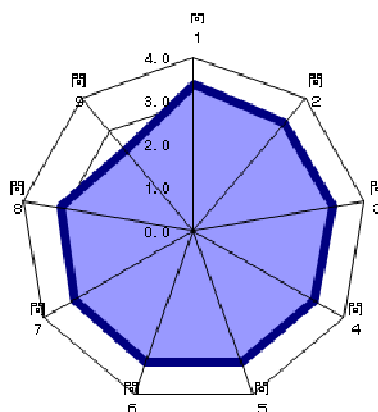
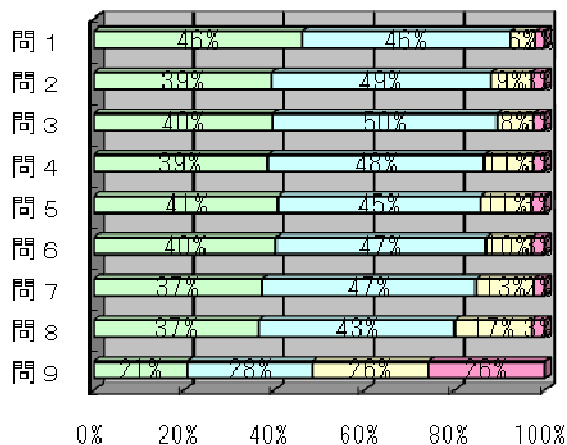


1. 今年度の改善状況

- ・自宅学習の状況を改善するために、宿題プリントや小テストの工夫に取り組んだ。例年、前期より後期では、授業の進行につれて授業の分かりやすさや授業時間外の学習に関する評価が低くなる傾向があり、今年もその傾向は変わらなかった。しかしながらも、自宅学習の改善により評価ポイントの減少率は多少抑えることができた。
- ・授業展開については、実験や実習などの工夫やICTの活用を行った。授業への集中度や、積極性が増してきた半面、理解力が高まっておらず、分かりやすい授業に関する評価ではポイントが減少してしまった。

2. 今後の課題

- ・生徒が恒常的に自宅での学習に取り組むように、授業内容や宿題等の課題を工夫する。
- ・観点別の評価において、関心・意欲、知識・理解では高い評価を得ているも思考・判断の評価の低い生徒が多いので、授業の中での問題演習による思考力、レポート・発表による表現力の教科が必要かと思われる。

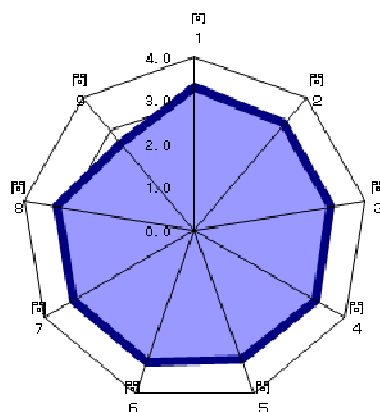
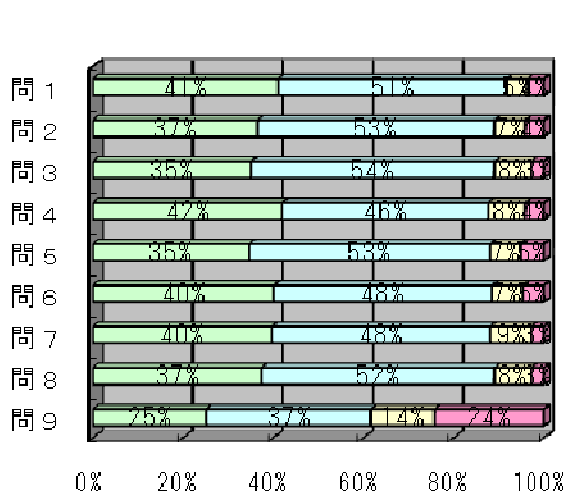


1 今年度の改善状況

- ・教えて考えさせる指導を徹底し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- ・実技に関しては、一部の生徒を除いては、意欲的に取り組んでいる。
- ・運動が有する特性や魅力に応じて基礎的な身体能力や知識を身に付け、運動に親しむことができるようになった。

2 今後の課題

- ・生涯スポーツにつなげるには、「わかる」と「できる」を実現させることが大切である。それを実現させるために、身体的発達・知識理解力とその領域・種目の技能的特性を考慮し、「何を教えればよいのか」ということを「知識」として整理する。
- ・持久走の授業において、地域住民の理解と協力が不可欠である。そのためには、何らかの方法で事前に連絡するよう努力する。
- ・授業の進行状況をなるべく足並みをそろえるようにする。

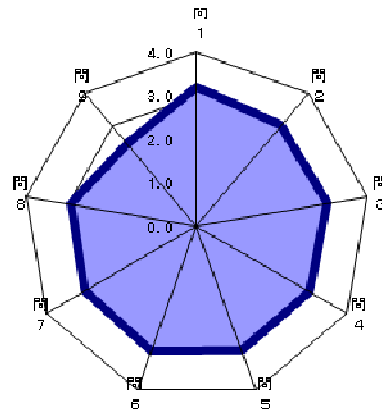
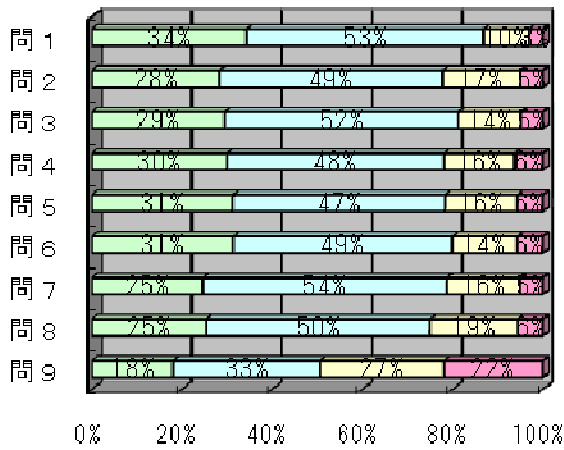


1 今年度の改善状況

- ・生徒による授業評価では、授業以外の学習のポイントが極端に低くなっているのは毎回の結果であるが、後期は作品の提出や演奏発表があったためか若干ポイントが上がって来たと思われる。
- ・生徒が放課後や休み時間に練習や制作に取り組んでいる姿は多く見られるので、今後も生徒の自主的な活動を促すことができるような授業内容を工夫したい。
- ・授業公開も行ってきたが、芸術科担当者は授業時間が重なっていることが多いのでなかなかお互いの授業を見ることが出来ないのが残念である。

2 今後の課題

- ・芸術科が目指しているのは「生涯にわたって芸術を愛好する心情を育成する」・・・要するに生涯教育である。
2年3年で芸術を選択するのはカリキュラム上なかなか難しい。生徒の声としてよく聞かれるのは、「取りたくても取れない」ということばである。
選択科目として来年度「素描Ⅰ」が開講されるが、新たな選択科目の設定なども考慮していきたい。
- ・芸術においては表現・鑑賞の分野があるが、表現に比べて鑑賞の分野は授業で取りあげる機会が少ないのが現状である。来年度3年音楽で学校外のオペラ教室に参加するが、今後もこのような企画があれば検討し参加させてみたい。
- ・書道Ⅱ・Ⅲの開講は残念であった。NHKの番組でも書道を取りあげている。少数希望の意欲は尊重するべきである。



1 今年度の改善状況
(実施しようとした内容)

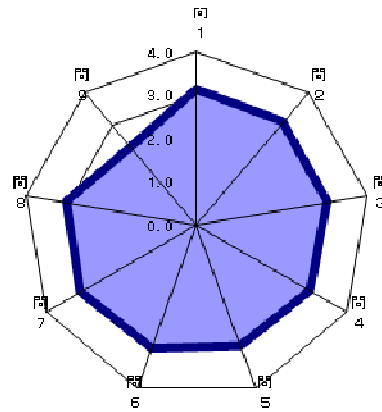
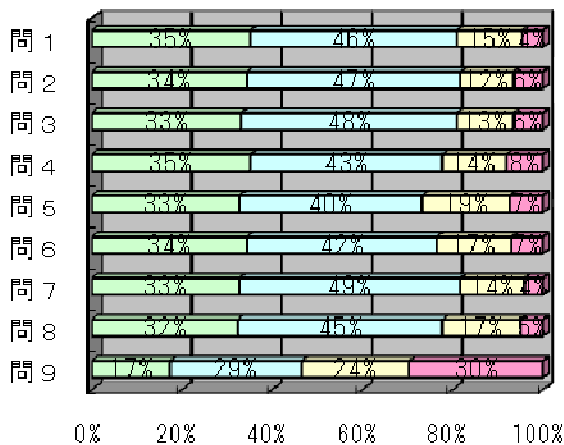
授業以外での学習の習慣を定着させるために予習・復習のための課題を与え、自ら学習する態度を育て、スムーズな授業展開につなげていきたい。

(結果)

授業評価を見ると(問9)「授業時間の他に、この授業の学習をしているか」という設問について、前期の集計では「とても、またはやや当てはまる」と回答した生徒は、すべての設問の中で最も少なく50%であったが、今回の集計でも50%という結果であった。しかし、その他の設問においては肯定的な回答が増えている。これは学ぶ機会を与えられれば真面目に取り組む生徒が多いと思われる我が校において小テストやプリントの活用等の工夫が授業において効果的であったためと考えられる。一方、主体的に学習に取り組む姿勢を養うという点では課題が残った。

2 今後の課題

引き続き予習・復習のための課題を出し、家庭学習の習慣の定着を図る。また、それを授業で扱ったり、小テストにつなげるなどしてその重要性を認識させ、授業への集中力を高めるといった取り組みが必要と思われる。さらに、学習状況調査において、単語の意味をつなぎ合わせて大まかに情報を理解したり、単語をつないで大まかな内容を伝達することの出来る水準には達しているが、英文をパターン化して理解し、英文の構造を捉えることが出来ない。そのため、英文読解の正確性に欠け、英文の内容を実感を伴う生きた情報として取り込むことが出来ず、文の論旨や論理の展開を理解できないというような問題も見られた。このことから単純な暗記ではなく、英文の構造を捉えることから英文を理解し、他の英文の作成に応用する学習法を定着させる工夫をしていくことが必要だと思われる。



1 今年度の改善状況
(良かった点)

今年度は、講師の先生も二人増えたため、自然に授業内容について話し合う機会が増えた。また、それぞれ使用しているプリントを持ち寄り、お互いに参考にして授業に生かすことができた。

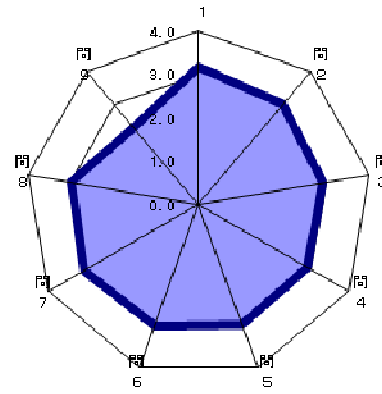
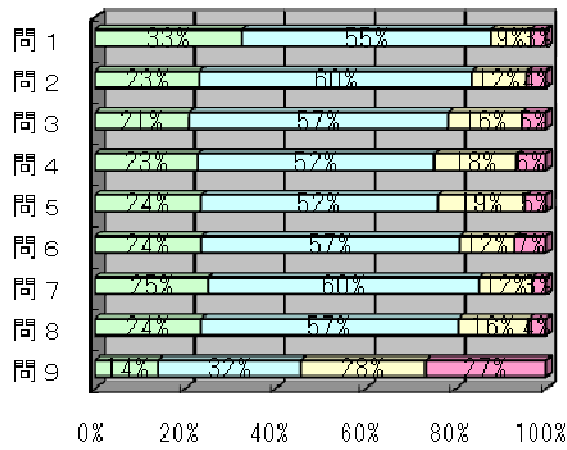
実習においても、教員補助の方がいらしたので、準備はもちろん実習中も生徒に目が届きスムーズに行うことができた。

(うまく進まなかった点)

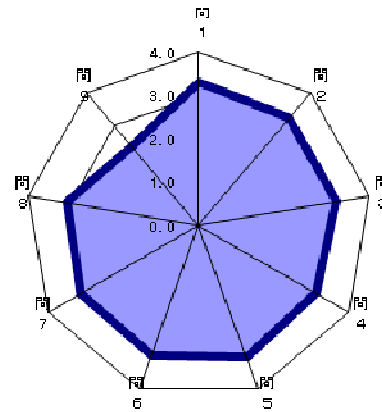
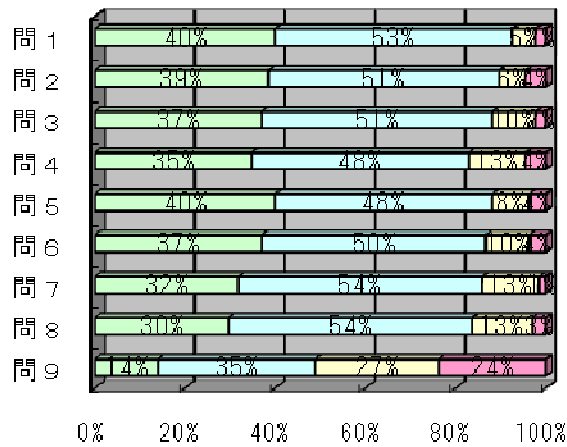
講師の先生の出勤日が、それぞれ週に1日、2日と少なかったため、年度当初は話し合いの時間を確保するのが難しかった。

2 今後の課題

今後とも教員間の情報交換を密にし、教材の精選に努めたい。また、教員補助の制度を来年度も是非継続していただきたい。



健康福祉



1 今年度の改善状況

【改善出来た点】

- * 昨年から数名の担当教員の担当入れ替えがあったが、大きな混乱なく引き継ぎが完了し、また、教員間の打ち合わせもスムーズに行われていた。
- * 健康や福祉を将来の進路とする生徒に対して、適切に外部講師を招へいし、生徒の適格な進路選択、動機づけの糧となることが出来た。
- * 講義について。本校の健康福祉科目は専門教員が居ない中、担当教員が協力し、ともにアイデアを出し合い、生徒への学びに還元できるように授業を展開することができた。

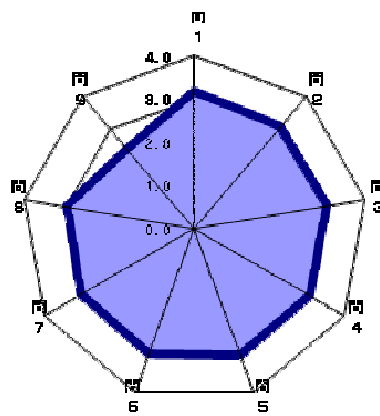
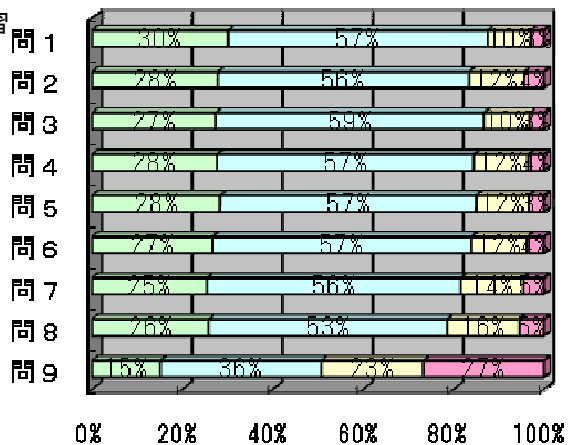
【改善が困難だった点】

- * 県費削減に伴い、例年招へい出来ていた外部講師を呼ぶことが出来なかった科目が出てきており、生徒への学びの達成が不十分な部分があった。もちろん、外部講師にのみ頼っているわけではなく、健康、福祉、保育や看護の領域などは机上にて学べない現場の現状を把握することが、生徒の知識、意欲に大いに関係する。

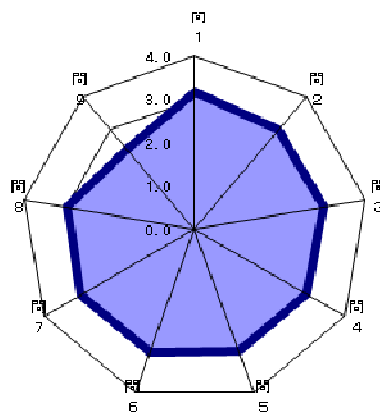
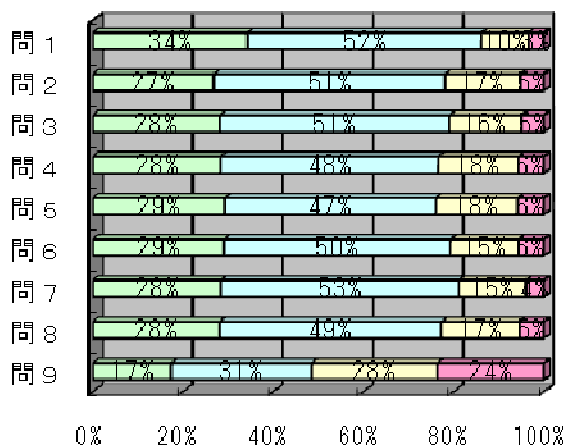
2 今後の課題

- * 県費削減に伴う外部講師の派遣の問題について。その問題解決が課題となる。
- * 健康福祉コース科目担当者は毎年変わる可能性があるため、急な担当者の変更に対応できるかが課題。

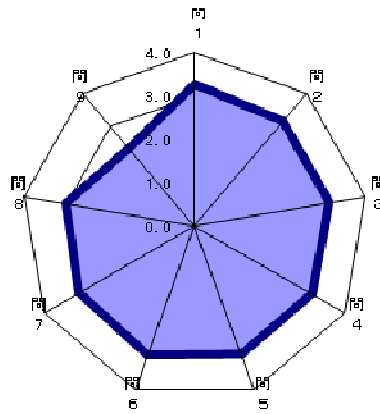
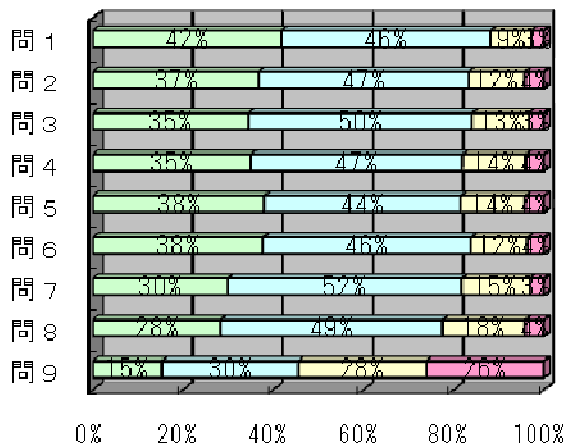
総合学習



1年



2年



3年

